

第4学年 造形遊び	題材名 光とかげから生まれたよ
【授業会場】 理科室	【時 間】 第○校時
【指 導 者】 ○○ ○○	【児 童】 4年○組
【授業協議会・分科会会場】 (3年○組教室)	

1 題材について

○題材観

本題材は、小学校学習指導要領図画工作第3学年及び第4学年の内容A表現(1)ア及び、B鑑賞(1)ア、〔共通事項〕(1)ア、イを受けて設定した。

本題材では、身近にある色々な材料に光を当て、映し出される影の形や色、重なりなどを試行錯誤しながら、自分の思いに合った形や色をつくったり、そのよさを感じ取ったりする力を育てることができる。また、光の当て方や組み合わせ方、光源と材料との距離や角度によって、できる影の様子が変わるため、その変化を楽しみながら活動を工夫することもできる。こうした表現と鑑賞を一体とした学びの中で、自分のイメージをもちながら表す喜びを味わうとともに、友達と関わり合いながら、表現のよさや工夫を感じ取ることができる題材である。

○児童観

本学級の児童は、「図画工作科の学習は好きですか。」の問いに9割の児童が肯定的な回答をしており、いろいろな活動に意欲的に取り組んでいる。自分の表したいことに合わせて材料や用具を選んで使うようになり、新しい材料やいろいろな表現方法に興味をもっている。また、活動の手がかりとなる提示資料や、友達との交流、対話を通して、造形的な見方や感じ方を広げることができるようになってきた。一方で、形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、活動や表し方について考えることに苦手意識をもつ児童もいる。

これまで児童は、第2学年「ひかりのプレゼント(造形遊び)」において、透明色紙や色水の入った容器などを組み合わせてできる形や色などから思い付き活動を行っている。6月には「組んで立ててつなぐんぐん(造形遊び)」の題材で、細く丸めた新聞紙の棒をつないだり組み合わせたりして、手や体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。

「知識」に関しては、自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かってきた児童が増えてきている。

「技能」に関しては、材料や用具を適切に扱うとともに、これまでの経験を生かし、組み合わせたり、形を変えたりと、試行錯誤しながら、工夫することができている。また、日常生活の中で、光源から対象物を映す経験をしている児童は多い。

「発想・構想【思・判・表】」に関しては、形や色などの感じを基に、自分のイメージをもち、思いに合わせて、すぐに取り組める児童が多い。一方で、自分のイメージをもつことができず、活動や表し方について思い付くことが難しい児童もいる。

「鑑賞【思・判・表】」に関しては、友達の活動や作品を見て、よいところや面白いところを見付けたり、それを言葉で伝えたりすることができる。しかし、自分と比べたり、試したりしながら、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げようとするのが難しい児童もいる。

○指導観

指導に当たっては、まず、全員が一つずつ光源となる懐中電灯を持ち、児童が十分に試すことができるようにする。また、光を通す材料や通さない材料、そして、多様な形の材料を十分に用意することで、児童が組み合わせを試しながら、活動を思い付くことができるようにする。導入では、様々な材料に光を当てて、映し出される影の形を楽しみながら、材料や場との出会うことを通して、活動への見通しをもち、意欲的に取り組むことができるようにする。また、活動中も、映し出される影の形や色の感じなどの鑑賞を繰り返すことで、つくり・つくりかえ・つくる楽しさを味わわせたい。さらに、ICT機器を活用した振り返りを行うことで、その時間で感じたり考えたりしたことを明確にし、より多くの友達の活動や考えに触れることで、自ら活動を見つめ、見方や感じ方を広げることができるようにしたい。

「知識」の指導に関しては、光を当てる距離や向きを変えながら影の形の組み合わせの感じを捉え

られるように、適度な広さの活動場所を保障する。また、材料を組み合わせたり、光の当て方を試したりしながら生まれる形や色などに気付けるように、十分な量の材料を提供できるようにする。

「技能」の指導に関しては、光源を遮る対象物の素材による効果を、児童が試行錯誤しながら発見できるように、様々な大きさや形のスクリーンを用意したり、形が多様な材料を十分に用意した材料コーナーを設置したりするなど場や環境を設定する。

「発想・構想【思・判・表】」の指導に関しては、多様な材料と場の中で、十分に試しながら活動できるようにする。また、友達と交流しながら活動したり、何度も試しながら活動したりすることができるようにするとともに、気に入った影はタブレット端末で写真や動画に残し、学級で共有することで、どの児童にとっても、映し出した影の形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、どのように活動するか考えることができるようにする。

「鑑賞【思・判・表】」の指導に関しては、互いの活動が見合えたり、自然と交流ができる場を設定することで、よさや面白さについて感じ取ったり、考えたりできるようにする。さらに、活動の途中や終わりに、タブレット端末で気に入った影を撮影し共有することで、様々な視点や角度から鑑賞できるようにする。

2 題材の目標

(1) 知識及び技能

- 材料を組み合わせたり、光の当て方を試したりしながら、影に映し出す行為を通して、形や色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどが分かる。
- 光源となるライトや材料を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせるなどして、手や体全体を十分に働かせながら、活動を工夫してつくる。

(2) 思考力、判断力、表現力等

- 映し出される影の形や色などを基に、造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考える。
- 材料を組み合わせることで映し出された影の形や色、友達の活動の様子から、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。
- 映し出される影の形や色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。

(3) 学びに向かう力、人間性等

- 材料の組み合わせ方や光の当て方を試しながら、色々な形や色の影を映し出したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

3 題材の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 材料を組み合わせたり、光の当て方を試したりしながら、影を映し出すときの感覚や行為を通して、形や色などの感じなどが分かっている。 光源となるライトや材料を適切に扱うとともに、前学年までの材料を扱った経験を生かし、組み合わせたり、形を変えたりして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 材料や影の形、色などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを発見しながら、どのように活動するかについて考えている。 形や色の感じを基に、自分のイメージをもちながら、材料を組み合わせることで光を当てて映し出した影の造形的なよさや面白さなどについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。 	<ul style="list-style-type: none"> つくりだす喜びを味わい、材料の組み合わせ方や光の当て方を試しながら、進んで影に映し出したり、鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。

4 指導と評価の計画（全3時間）

時間	めあて 学習活動	評価の観点、評価方法等			
		知	技	思	態
		知識	技能	発想や構想 鑑賞	
1	材料を組み合わせた ^り 、光の当て方を試したりして、影を映そう ・材料や場と出合い、様々な材料に光を当て、試しながら影を映し出す。	○		○	
2 本時	材料の組み合わせや光の当て方を工夫して、影づくりを楽しもう ・材料の組み合わせや光の当て方の工夫をして、様々な形や色を映し出す。	○	◎ 観察 対話 写真・動画	◎ 観察 対話 写真・動画	
3	自分や友達の活動から、素敵 ^な ところや工夫しているところを見付けよう ・活動の様子を鑑賞し合い、自分の見方や感じ方を深める。	◎ 観察 対話 写真・動画		◎ 対話 写真・動画	◎ 観察 対話 写真・動画

○…題材の評価規準に照らして、適宜、児童の学習状況を把握し指導に生かす。

◎…題材の評価規準に照らして、全員の学習状況を記録に残す。

5 本時の目標

材料の組み合わせや光の当て方を工夫して、影づくりを楽しむことができる。

6 準備物

スクリーン …模造紙・画用紙など

光源 …懐中電灯

材料 …ペットボトル、プラスチック容器、卵パック、気泡緩衝材、透明色紙、花紙、綿、ポリエチレンテープ、空き箱、ネット、ラップやトレットペーパーの芯、紐、発泡スチロール、洗濯ばさみ、ペン など

7 本時の学習展開（2時間目/全3時間）

学習活動	◇指導の工夫 ◆努力を要すると判断される児童への手立て	評価基準（評価の方法）
1 本時のめあてを確認する。	材料の組み合わせや光の当て方を工夫して、影づくりを楽しもう	
2 注意事項を確認する。	◇暗闇での作業は、危険を伴うことを全体で確認し、安全に留意して活動に取り組むことができるようにする。	
3 材料の置き方や組み合わせ方、光の当て方などを試しながら、活動する。 ・できる影の形や色を確かめながら、材料の組み合わせを工夫して活動する。	◇光源や材料を多く用意し、造形的な活動を豊かに思い付くことができるようにする。 ◇形や色、組み合わせによる感じについての児童の発言を取り上げ、共感したり価値付けたり、共有したりする。 ◆新しい形や色を思い付きながら、どのように活動するかについて考えられるように、自然と友達と交流したり、何度も試しながら活動したりできる場の設定を行う。	発想や構想 材料や影の形、色などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを発見しながら、どのように活動するかについて考えている。(観察・対話・写真・動画◎) 技能 光源となるライトや材料を適切に扱うとともに、材料を組み合わせたり、形を変えたりして、手

<p>・気に入った影を、タブレット端末で撮影し、写真や動画を共有する。</p> <p>4 本時の振り返りをする。</p>	<p>◇気に入った影をタブレット端末で写真や動画で撮影し、学級で共有することで、映し出した影の形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、どのように活動するか考えることができるようにする。</p>	<p>や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。(観察・対話・写真・動画◎)</p>
<p>〈学びが深まった姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック容器の影が観覧車に見えてきたから、材料を組み合わせ、遊園地の影にしてみたよ。 ・光の近くで洗濯ばさみを動かしたら、クレーンゲームのような動きの影ができたよ。 ・赤い影が、白黒の影の世界を冒険する動画をつくったよ。 		

8 板書計画

光とかげから生まれたよ

めあて 材料の組み合わせや光の当て方を工夫して、影づくりを楽しもう

前時の様子	<p>約束</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光を人に向けない。 ・足元や周りに注意する。 ・タブレットは、決められた場所に置く。 	<p>時間</p> <p>明るい時間 10分</p> <p>暗い時間 20分</p> <p>(気に入った影ができたなら、写真や動画に残そう！)</p>
前時の様子		

9 教室環境

